

# 広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

＜圏域内の市町が抱える地域課題や大学等に期待する取組＞

区分	テーマ	地域課題の概要
⑥観光資源の共同開発・PR	観光地のにぎわいづくり	・市町単独では、観光地としての知名度が低い、滞在時間が短いなどの課題があるため、圏域で連携して、新たな観光資源の掘り起こしや観光コンテンツの創出、効果的な情報発信等を行う必要がある。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
東広島市	本市の観光推進組織であるディスカバー東広島において、コンテンツの造成や情報発信を行っているが、更なる賑わいづくりに向けて、広域連携の視点が必要である。	広域で連携した体験型コンテンツの造成についてノウハウを共有していただきたい。
江田島市	観光地としてはまだまだ知名度は低く、周辺市町に比べ観光客数は少ない。新たな観光資源掘り起こしているがまだまだ商品化にはいたっていない。	大学生が「行ってみたい」と思うような斬新な発想による観光資源の掘り起こし。商品化や来訪の目的になるような観光資源やプログラムの造成をしていただきたい。
府中町	当町はベットタウンとして住みやすさでの認知度が高いが、観光地としての認知度が低い。また、既存の観光資源だけでなく、新たな地域資源の発掘を行い情報発信する必要がある。	予算や観光資源が限られている中で、地域や商工会、行政機関など他分野と連携しながら、どのようにすれば効果的に観光資源の把握や新たな地域資源の発掘を行い、情報発信ができるか方策を検討していただきたい。
海田町	既存の観光資源の知名度向上（観光客だけでなく、町内居住者に対しても）が課題となっている。	地域資源を用いたPR素材（ポスター、動画、ツアー提案等）の作成や提案をしていただきたい。
熊野町	観光地としての知名度が低い、滞在時間が短いなどの課題があり、圏域で連携して、新たな観光資源の掘り起こしや観光・交流事業の企画、効果的な情報発信を行う必要がある。	若い世代の視点による町の魅力の発見・発信につながる企画・取組を検討していただきたい。
坂町	新たな観光資源の掘り起こしや観光・交流事業の企画、効果的な情報発信が必要となっている。	観光地の賑わいづくりに有効な取組を検討していただきたい。
周防大島町	観光における滞在時間が短いなどの課題があり、圏域で連携して、新たな観光資源の掘り起こしや観光・交流事業の企画、効果的な情報発信を行う必要がある。	本町の自然環境を資源にした新たな観光等の企画や、その有効的な情報発信の方策などを検討していただきたい。
和木町	本町単独では観光資源が限られている。	近隣市町を含めた観光事業の展開を検討していただきたい。
上関町	本町の観光は、1年を通じて釣り客が多く、夏には海浜公園へ訪れる海水浴客、春には城山歴史公園などの景勝地へ観光客が訪れる。しかし、市町単独での呼び込みや情報発信では限界がある。	現在「ふるさと魅力発見ツアー」等、広島広域都市圏協議会で行っている観光事業もあるが、広島広域都市圏での新たな観光・交流事業の企画や効果的な情報発信について検討していただきたい。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
浜田市	日帰り旅行の目的地になっており、宿泊につながるよう、食・神楽・温泉をからめたPRを行っているが、宿泊につながっていない。	圏域で連携した周遊による滞在時間の延長につながる取組を検討していただきたい。
川本町	川本町は観光場所も少なく、知名度も低いため、新たな観光資源を掘り起こす必要がある。	既存の土地や風景、施設等をなるべく活用して、観光地となるようなアイデアをいただきたい。
邑南町	観光地としての知名度が低い。町内での滞在時間が短い。	一般に観光資源として認知されていないようなモノ、コトについて活用した成功事例や活用方法について検討していただきたい。